

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2011年 36週 (9月1週 9/5~9/11)

2011年 8月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

手足口病、伝染性紅斑、腸管出血性大腸菌感染症、結核

定点医療機関コメント

マイコプラズマ、感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナ、伝染性紅斑、サルモネラ 等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(27)、コレラ(1)、A型肝炎(1)、デング熱(2)、日本紅斑熱(1)、アメーバ赤痢(2)、後天性免疫不全症候群(2)、梅毒(1)、風しん(1)、麻しん(2)

2011年 8月報

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

基幹定点におけるインフルエンザ入院サーベイランス開始に伴い、表の一部を変更しました。

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

手足口病(図1)

36週の定点当たり報告数は4.42と引き続き警報終息基準値(定点当たり2.0)を超えています。2011年に病原体定点から寄せられた101検体のうち、21検体からCV(コクサッキーウイルス)-A6、5検体からCV-A16、2検体からEV(エンテロウイルス)-71型、1検体からCV-B4、2検体からCV-B5が検出されています(疾患別ウイルス検出情報(速報)<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>参照)。

【参考ページ】手足口病警報を発令します!!(7月7日発表)

<http://www.pref.aichi.jp/0000016940.html>

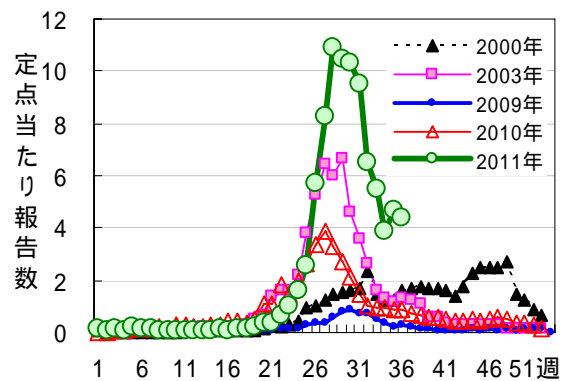


図1 手足口病

伝染性紅斑(図2)

36週の定点当たり報告数は0.80です。2011年愛知県においても、一部の麻しん疑い患者検体からヒトパルボウイルスB19(伝染性紅斑の病因ウイルス)が検出されています。

【参考ページ】麻しんと診断された伝染性紅斑の家族例(病原微生物検出情報/国立感染症研究所感染症情報センター)

<http://idsc.nih.gov.jp/iasr/31/367/pr3674.html>

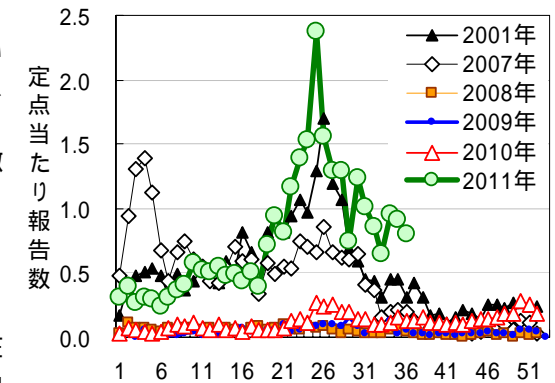


図2 伝染性紅斑

腸管出血性大腸菌感染症

愛知県の2011年1~37週報告数(診断週集計)は9月14日現在88件、うち溶血性尿毒症症候群発症例は2件です。O血清型別内訳は、O157が78件、O26が5件、O121が1件、O145が1件、不明が3件です。2010年の同時期(1~37週)

報告数は191件、報告総数は237件でした。

【参考ページ】

病原大腸菌 下痢を起こす5種類のメンバー

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/eagec.html>

結核(図3)

2011年1~8月の報告数は1,392例(うち無症状病原体保有者383例)でした。2010年1~8月報告数は1,330例(同204例)、2010年総計は2,037例(同351例)でした。

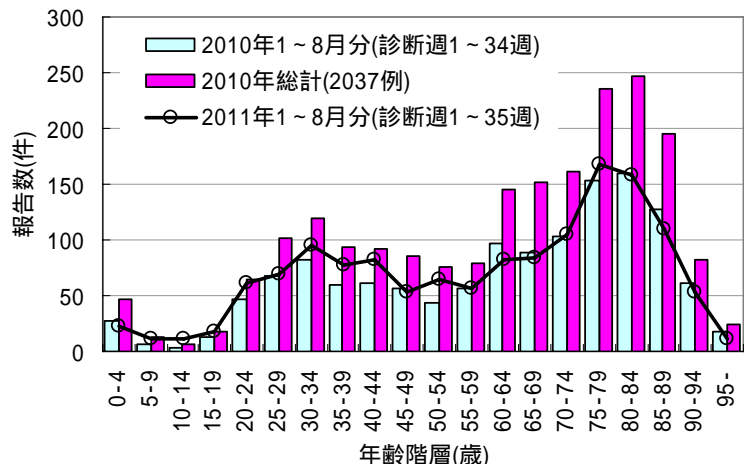


図3 結核の年齢階層別報告数(愛知県、無症状病原体保有者含む)

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

マイコプラズマ感染症 成人2名
手足口病再び流行
【一宮市 後藤小児科医院】
マイコプラズマ感染症 16人
【一宮市 ささい小児科】
細菌性胃腸炎が目立ってきました。種類は様々です。
【犬山市 武内医院】

手足口病 少なくなりました。
【江南市 医療法人みやぐちこどもクリニック】
手足口病続発するも減少傾向
RSを今季初めてみました。
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
手足口病は減少傾向です。
【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

水痘が増加しています。
【豊明市 こども元気クリニック】
手足口病、再び増加傾向です。
伝染性紅斑目立ちます。
その他マイコプラズマ感染症、溶連菌、突発疹等。
【尾張旭市 医療法人 誠和会佐伯小児科医院】
手足口病、ヘルパンギーナ 減少しています。
【春日井市 春日井市民病院】
手足口病、ヘルパンギーナ 少々
ムンプス 少々
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
マイコプラズマ肺炎がまだ多くみられます。
RSウイルス感染症 1例
【小牧市 志水こどもクリニック】

8か月女 病原大腸菌O25(+)VT(-)
【半田市 医療法人林医院】
まだ手足口病は多いですが、7月に比べ症状は軽いようです。
【半田市 ひいらぎこどもクリニック】
11歳男 マイコプラズマ気管支炎
手足口病後の爪はくり例あり
【大府市 まえはらこどもクリニック】
アデノウイルス感染症(2名 9歳、6歳ともに扁桃炎)
腸炎ビブリオ感染症(1名 4歳)
【東海市 もしもしこどもクリニック】

[8月報コメント]

MRSA患者は治療にて重症化はみられていません。

【半田市 半田市立半田病院】

西三河地区

マイコプラズマ 6人
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
サルモネラ菌O7群 3歳男
カンピロバクター(+)45歳男
アデノウイルス感染症 3歳男
咽頭結膜熱が小流行
【岡崎市 花田こどもクリニック】
8か月女 *Aeromonas* sp.
12歳男 病原性大腸菌O1(+)VT(-)
カンピロバクター
12歳男 サルモネラO4
病原性大腸菌O18(+)VT(-)
8歳女 マイコプラズマ
1歳男 病原性大腸菌O18(+)VT(-)
【岡崎市 にいのみ小児科】

5歳女 病原性大腸菌O1
溶連菌感染症、手足口病散見されます。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
12歳男 マイコプラズマ肺炎
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
8歳女 百日咳 山口株2560倍
【みよし市 みよし市民病院】
3歳女 カンピロバクター
2歳女 サルモネラO4
【西尾市 山岸クリニック】

[8月報コメント]

性器クラミジア感染症の15~19歳と淋菌感染症の15~19歳は同一人物です。

【西尾市 西尾市民病院】

東三河地区

RSウイルスが出始めました。
【豊橋市 富田小児科】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2011年9月14日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun110905.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2011年36週報告数			2011年累計(1～36週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	13	3		559	121	117
豊田市	1			61	18	17
豊橋市				59	12	22
岡崎市				58	11	20
一宮	2		1	105	30	31
瀬戸	3		2	112	26	28
半田				39	10	17
春日井	2			74	22	18
豊川				26	6	10
津島	2			54	12	17
西尾				34	7	12
江南	2		1	47	12	18
新城				9	4	
知多	2		1	91	17	47
師勝				29	10	4
衣浦東部				81	28	18
合計	27	3	5	1,438	346	396

コレラ（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	推定感染地域
1	名古屋市	27歳	女	8/16	8/19	9/7	ウズベキスタン

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

A型肝炎（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	豊川	24歳	男	フィリピン

デング熱（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	9歳	男	デング熱	スリランカ
2	豊橋市	37歳	男	デング熱	インドネシア

日本紅斑熱（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	衣浦東部	72歳	男	三重県

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	瀬戸	51歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内
2	津島	64歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	岡崎市	34歳	男	AIDS	性的接触	国内
2	衣浦東部	32歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	岡崎市	24歳	男	早期顕症	性的接触	国内

風しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	衣浦東部	37歳	男	不明	国内

麻疹（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	31歳	女	有	国内
2	名古屋市	63歳	男	不明	国内

2011年8月報 (2011年9月8日現在、診断週に基づく集計)

8月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [()は無症状病原体保有者再掲。]

2010～2011年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2011年8月			2011年 総計 <愛知県全体>	2010年 総計 <愛知県全体>	
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体			
一類 (7)	発生報告なし		0	0	0	0	
二類 (5)	結核	105 (37)	77 (18)	182 (55)	1,392 (383)	2,037 (351)	
三類 (5)	細菌性赤痢	3 (0)	0 (0)	3 (0)	9 (0)	11 (0)	
	腸管出血性大腸菌感染症	20 (2)	10 (4)	30 (6)	84 (20)	237 (56)	
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	
四類 (42)	E型肝炎	0	0	0	2	3	
	A型肝炎	0	0	0	1	13	
	オウム病	0	0	0	0	4	
	チクングニア熱	0	0	0	1	-	
	つつが虫病	0	0	0	0	2	
	デング熱	0	1	1	6	21	
	ブルセラ症	0	0	0	0	1	
	ポツリヌス症	0	0	0	1	0	
	マラリア	0	1	1	6	1	
	レジオネラ症	2	0	2	26	43	
五類 (14)	アメーバ赤痢	4	2	6	25	53	
	ウイルス性肝炎	0	0	0	7	17	
	内訳	B型	0	0	0	4	16
		C型	0	0	0	0	1
		その他	0	0	0	3	0
	急性脳炎	0	1	1	10	8	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	1	1	8	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	10	11	
	後天性免疫不全症候群	2	4	6	68	138	
	内訳	無症候性キャリア	1	2	3	35	73
		AIDS	1	1	2	31	56
		その他	0	1	1	2	9
	ジアルジア症	0	0	0	3	1	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	1	
	梅毒	1	0	1	31	53	
	内訳	無症候	0	0	0	10	23
		早期顕症	1	0	1	18	27
		晩期顕症	0	0	0	3	3
	破傷風	1	0	1	3	3	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	2	
風しん	1	1	2	11	3		
麻しん	1	0	1	26	32		
総 計		141	97	238	1,726	2,704	

*026;3件、0145;1件、0157;26件。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2011年8月			2011年 総計	2010年 総計
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	67	65	132	1,020	1,680
	性器ヘルペスウイルス感染症	36	18	54	421	609
	尖圭コンジローマ	19	19	38	217	355
	淋菌感染症	25	40	65	460	822
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	109	36	145	942	1,239
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	7	3	10	108	238
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	1	4
	薬剤耐性アシネトバクター感染症*	0	4	4	9	-

*2011年2月からの報告対象疾病

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (42疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (42疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

愛知県感染症情報

2011年36週(2011年9月5日～2011年9月11日)

愛知県衛生研究所

	定点数					インフルエンザ 定点 * インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び 新型インフルエンザ等感 染症を除く。)	小児科定点										眼科定点		基幹定点					
	インフル エンザ	小児 科	眼 科	S T D	基 幹		RS ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘル パ ン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎 (オ ウ ム 病 を 除 く。)	者 イ ン フ ル エ ン ザ に よ る 入 院 患 者
愛知県 (保健所別)																								
愛知県 (名古屋市含む)	195	182	35	54	14	1	43	27	81	494	112	805	146	124	4	136	65	0	9	0	1	23	0	0
総数 (名古屋市を除く)	125	112	24	39	12	1	25	22	64	333	77	712	117	98	2	80	51	0	7	0	1	23	0	0
名古屋市(16保健所)	70	70	11	15	2		18	5	17	161	35	93	29	26	2	56	14		2					
瀬戸	9	9	2	3	1		2	3	8	55	12	44	16	9		5	6					3		
津島	7	7	2	2	1		3		1	42		73	16	9		2	1					11		
師勝	4	4	1	1						4	2	12	1			3	2							
一宮	16	12	3	4	1		3		7	15	9	72	9	11		5	4				1	5		
春日井	9	9	2	3	1		2	2	4	13	6	40	3	7		12	4							
江南	6	6	1	2			1	1	3	19	1	19	6	5		13	3							
半田	6	6	1	2	1				1	27	4	60	4	2		3	3		1			2		
知多	7	7	2	2		1			8	21	4	9	6	5			4							
岡崎市	11	7	2	4	1		1	8	12	32		77	7	12		3	4							
衣浦東部	13	13	2	4	1			1	5	22	12	73	5	12	1	9	3		2					
西尾	5	5	1	2	1			1		9	6	35	10	3		10	2							
豊田市	9	9	2	4	1		2		6	25	7	30	12	7		11	4					1		
豊橋市	12	8	2	4	1		7	4	5	20	7	98	12	6		1	5					1		
豊川	9	8	1	2	1		4	2	4	27	7	68	10	10	1	2	6		4					
新城	2	2			1					2		2				1								

*2011年36週からの基幹定点におけるインフルエンザ入院サーベイランス開始に伴い、「インフルエンザによる入院患者」を追加しました。また「インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)」及び「RSウイルス感染症」の順序を変更しました。

